

12

原子力施設の運転状況

12-06

放射性同位元素使用事業所

12-06-01

放射性同位元素取扱施設の事故・故障・トラブル

12-06-01-04

昭和58年度放射性同位元素等取扱施設における事故・故障

## <概要>

昭和58年度に発生した放射性同位元素等取扱事業所に係る事故は、盗難1件、紛失1件であった。なお、いずれの事故についても周辺公衆への影響はなかった。

## <更新年月>

1998年05月

(本データは原則として更新対象外とします。)

## <本文>

昭和58年度に発生した放射性同位元素等取扱事業所に係る事故（放射線障害防止法令に基づき科学技術庁（現文部科学省）に報告のあったもの）は、盗難1件及び紛失1件で、その概要は次のとおりである。また、周辺公衆への影響はなかった。

(1) 昭和58年8月13日、茨城県水海道市内において夜光塗料を塗ったクロック（目覚し時計）の文字板〔プロメチウム147、1枚当たり約50マイクロキュリー（1.8MBq）〕約28,700枚を積載した車が盗難にあったことが判明したが、同月16日千葉県野田市において発見された。

(2) 昭和58年11月8日、山口県厚生農業協同組合連合会、周東総合病院において、腫瘍の治療終了後、治療に使用したラジウム226収納線源〔1ミリキュリー（37MBq）及び1.4ミリキュリー（5.2MBq）を合計16本使用〕を確認したところ、15本しかなく、1本が紛失していることが判明した。

紛失した線源は探索の結果、同月20日柳井市ゴミ捨場から発見された。

## <関連タイトル>

[放射性同位元素等取扱事業所における事故等の年度推移（1998年度まで）（03-05-04-01）](#)

[放射性同位元素（08-01-03-03）](#)

[放射性同位元素等取扱施設からの放射線（能）（09-01-02-07）](#)

## <参考文献>

(1) 原子力安全委員会（編）：「昭和58年度の放射性同位元素取扱施設の事故・故障（放射線障害防止法に基づき報告があったもの）」、昭和59年度版 原子力安全白書、139、324（1984）